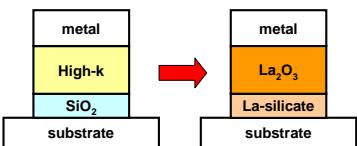


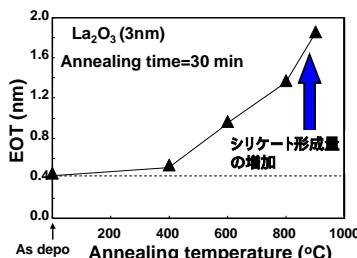
Process Optimization of Rare-Earth Oxides Gated MOS Devices for Future EOT Scaling

D. Kitayama¹, T. Koyanagi¹, K. Kakushima², P. Ahmet¹, K. Tsutsui², A. Nishiyama², N. Sugii², K. Natori¹, T. Hattori¹ and H. Iwai¹
Tokyo Tech. FRC¹, Tokyo Tech. IGSSE²

Purpose of This Work



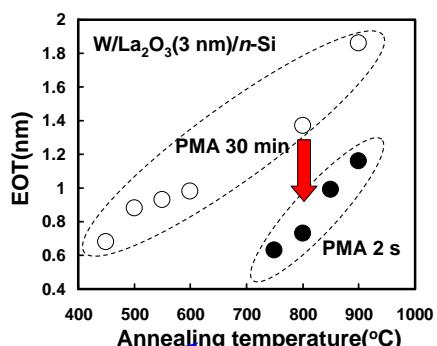
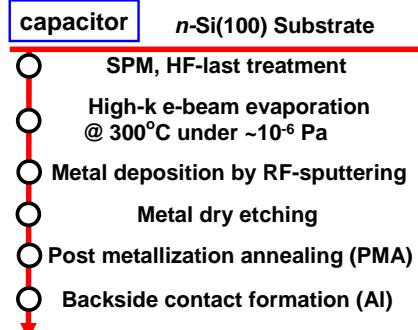
La_2O_3 は SiO_2 界面層を形成せずに容易にhigh-k/Si直接接合を達成可能



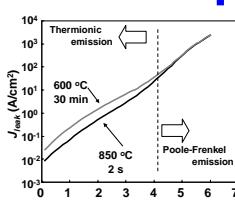
熱処理による La -シリケートの過剰な形成によりEOTが増加

熱処理方法、電極材料の工夫によりEOTの増加を抑制する

Fabrication Process

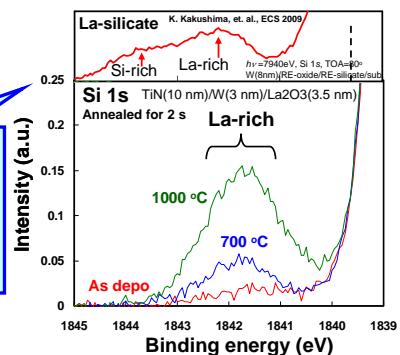


熱処理を短時間化することでEOTの増加を抑制

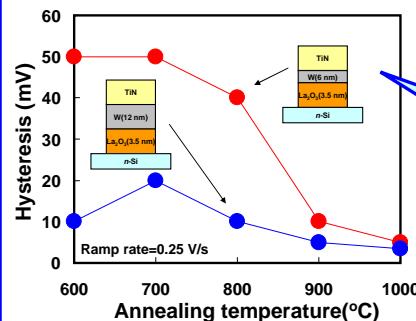


同じEOTで比較すると高温短時間熱処理でより小さいリーク電流

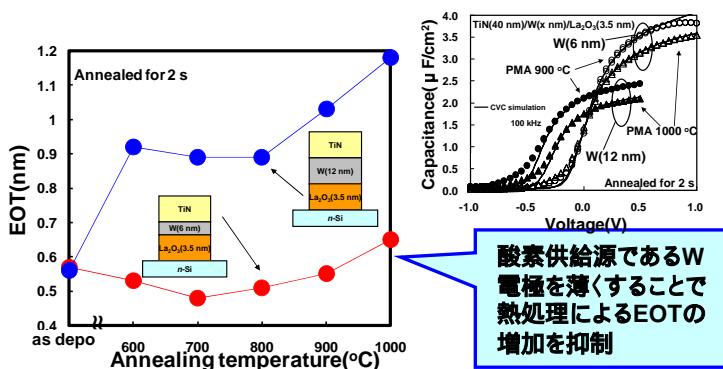
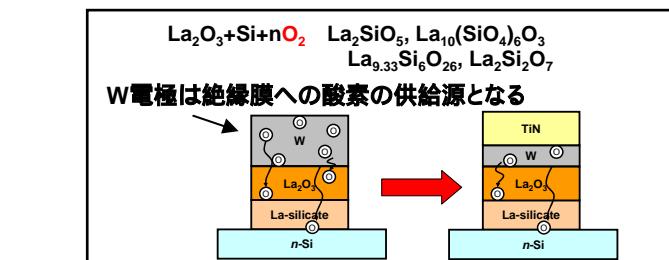
Results



W電極を薄くし酸素の供給量を制御することでLa-richなシリケートが形成



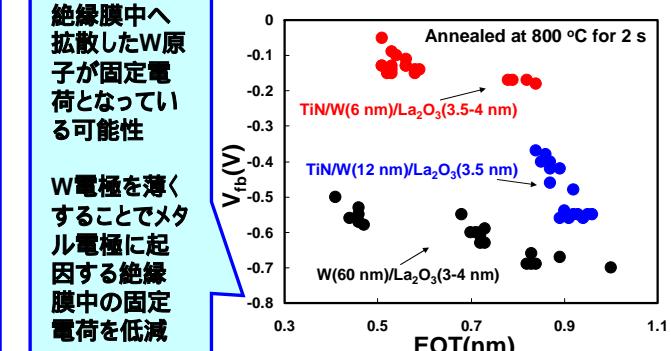
酸素の供給量が不足するとC-V特性のヒステリシスが増大



酸素供給源であるW電極を薄くすることで熱処理によるEOTの増加を抑制

絶縁膜中へ拡散したW原子が固定電荷となっていける可能性

W電極を薄くすることでメタル電極に起因する絶縁膜中の固定電荷を低減



Conclusion

- 熱処理の短時間化、W電極の薄膜化により絶縁膜への酸素原子の供給を制御し高温熱処理に伴うEOTの増加を抑制できた。
- 今後、電極からのメタルの拡散を防ぐことによりさらなる特性の向上が期待できる。